

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20250
事業名	民生委員費					
評価担当課	所属名	保)総務部 総務課				
	課長名	高橋 俊範	担当者名	岩谷 亥・長島 康人	電話番号	011-211-2932
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	民生委員が行う福祉に関する相談・援助や福祉サービスの情報提供などの活動を推進するため、民生委員個人の資質の向上を図る。			
		長期	民生委員活動の活性化により、札幌市の地域福祉活動を推進する。			
	取組内容	①民生委員・児童委員(以下、民生委員)活動費等の交付 ②札幌市民生委員推薦会等の運営 ③民生委員への研修 ④民生委員の表彰事務 ⑤民生委員制度の周知、広報				
	実施結果	・相談・支援件数延べ32,325件、活動日数延べ290,543日。 ・民生委員推薦会を3回開催し、欠員補充で77名の推薦を行った。 ・民生委員(地区指導者、中堅、新任、就任3年目)及び主任児童委員に対する研修を実施(合計1,245名受講) ・延べ643名の民生委員が表彰された。				
事業実施における工夫点	民生委員に対する研修を外部へ委託することで事業費削減を図っている。					
対象者	民生委員・児童委員	開始	0年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	民生委員法、児童福祉法 札幌市民生委員の定数に関する条例、札幌市民生委員・児童委員の選任等に関する要綱					
他都市の状況	他政令指定都市も同様の事業を実施している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	205,483	212,522	211,044	220,811
うち特定財源	309	480	480	6,402
人工	0.8	0.8	0.8	1.1
人件費	5,760	5,760	5,760	7,920
計(事業費+人件費)	211,243	218,282	216,804	228,731
事業費の内訳	令和3年度決算	・交付金(民生委員活動費等)208,247千円 ・研修委託費619千円 ・非常勤職員報酬638千円 ・その他1,540千円		
	令和4年度予算	・交付金(民生委員活動費等)209,160千円 ・研修委託費1,303千円 ・非常勤職員報酬814千円 ・その他9,534千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	各種研修会等参加人数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	722人	700人	1,245人	1,245人	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	訪問・連絡活動回数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	370,127回	450,000回	363,401回	363,401回	
成果指標2	指標名	関係機関との連絡調整回数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	49,816回	65,000回	52,899回	52,899回	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルスの影響により年度末の民生委員活動が制限されたため、例年よりも訪問・連絡活動及び関係機関との連絡調整回数がやや減少しているものの、そのような状況の中でも電話やインターフォン越しの安否確認など可能な範囲で活動を継続してきたことから、地域の身近な相談員である民生委員の活動は維持できている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	民生委員1人当たりの活動費は地方交付税の算定基礎と同じく60,200円/年であるが、これは、他政令市と金額を比較しても低い水準である。また、1人当たりの担当世帯数は366世帯(令和4年3月末時点)で、国の基準では目安が220~440世帯となっていることから事業規模として適切である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	民生委員法第26条により、民生委員活動費、民生委員推薦会、民生委員児童委員協議会、民生委員の指導訓練に関する費用は市が負担することとされている。このうち、指導訓練に関しては、札幌市社会福祉協議会に研修業務を委託し、事業の効率化を図っている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	民生委員向けの研修の受講後に実施したアンケートでは、平均で88.2%の方が研修の内容について「大変よい」又は「良い」と回答しており、対象者のニーズに応える研修テーマの選定や説明を行うことができたものとする。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	高齢化やコロナにより地域の繋がりが希薄化し、地域の相談役として民生委員に求められる役割は大きくなっている。複雑化する社会の中で支援を行うにあたり、豊富な知識や経験が必要となるため、研修内容を充実させるとともに、研修の場において委員同士で情報共有や意見交換を行うことができるよう、進め方について工夫する必要がある。 また、R3年度にワーキンググループで検討した委員の欠員対策についてはR4以降順次実施していく。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	欠員が生じている地区があるものの、近隣の民生委員でカバーしながら地域住民の身近な相談役としての民生委員活動が維持できているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 今後も、民生委員活動に係る経費の交付、欠員補充のための民生委員推薦会の運営、民生委員の資質向上に向けた研修を実施する。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> その他 R4年度予算で要求した3年に一度の斉改選経費はR5年度予算では要求しないため減額となっている。		見直し効果額	0